

令和6年度「教育実践研究奨励賞」 教育実践論文の部 募集要項

東濃地区教育推進協議会

1 目的

- ・東濃地区の教職員の教育実践研究の向上を願い「教育実践研究奨励賞」に教育実践研究論文の部を設置し、優れたものは賞を授与する。

2 応募資格

- ・東濃教育事務所管内のすべての常勤の教職員
【校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭（常勤講師を含む）、養護教諭、事務職員、栄養教諭、学校栄養職員】

3 応募点数

- ・各市教育研究所・研修所から、幼稚園等教職員も含めて、
【一般の部】6点、【新人の部】4点 以内
※新人の部には、採用後6年目以内（実務経験）の教職員が応募すること

4 応募方法

- ・各学校から、各市教育研究所・研修所に提出する。
※期限は、各市教育研究所・研修所の指示による。
- ・各市教育研究所・研修所は、東濃教育事務所に提出する。
※提出期限：令和7年1月15日（水）
※応募者は、提出する論文に「応募票」を付ける。なお、「応募票」に記載する内容は、論文本体に記載する「概要」と同一とする。
※各教育研究所・研修所は、応募論文を審査し、「審査票」に推薦理由・推薦順位を記入して提出する。

5 執筆要項（岐阜大学教育学部同窓会主催「令和6年度 教育実践研究助成事業 実施要綱」と同一）

①論文の書き方

- ・文字は、常用漢字。現代かなづかいを使用する。
- ・学校の教育課題を踏まえ、願い・問い合わせ（仮説）→実践→検証（分析・解釈）→改善（今後の方向）という取組の過程をふまえて記述する。

②原稿の印刷

- ・モノクロ印刷で提出する。印刷原稿は、白黒になることから、特に図や表は十分視認できるようにコントラストに留意する。

③本文の様式（詳細は、下記レイアウト参照）

- ・文章の作成は、ワードを使用し、フォントサイズは、10.5・MS明朝（見出しはMSゴシック）。A4判6ページ（22字程度×43行～50行×2段 横書き）余白：上下左右各25mm程度。
- ・1ページ目の冒頭に研究主題・（副主題）・所属・職名・氏名を記載する（46文字程度×5行以内×1段）。上下に二重罫線を引く。
- ・1ページ目に「概要」（46字程度×10行）を記載する。（入賞者についてはこの「概要」をそのまま論文集に掲載する）

④図・表・写真の使用について

- ・図とは、絵・写真・グラフを用いた不定形のものを指す。表とは、文字・数字・記号・縦横の罫線だけで構成されるものを指す。
- ・図と表は、内容が読み取れる程度の縮小に留める。
- ・図と表は、必ず区別し、図1・表1からそれぞれで通し番号を論文全体にわたってつける。
- ・図と表には、それぞれの通し番号と共に内容を簡潔に表現した見出しをつける。
- ・図や表を挿入する際は、必ず本文内で言及し、図や表だけが突然示されることのないようとする。

- ・引用であれば、必ず図や表の下部に出典を明示する。

⑤添付資料

- ・本編以外の資料は添付しない。

⑥参考文献等

- ・参考文献等がある場合は、論文の最後に年代順で一括掲載する。

⑦その他

- ・写真等は、児童生徒が特定されないように留意する。

※備考：様式は、岐阜大学教育学部同窓会HPよりダウンロードが可能です。

6 審査

- ・東濃地区教育推進協議会の審査委員会で奨励賞を決定する。
【一般の部】 優秀賞：2～4点、優良賞：7～9点、入選：数点
【新人の部】 新人賞：6～8点、入選：数点

7 選考の観点

観点1	教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。
観点2	願う児童生徒の姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。
観点3	児童生徒の成長や変容の姿がよく表れているか。
観点4	研究及び実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある論文であるか。

※備考：観点2及び観点3の「児童生徒」を「教職員」と置き換えることができる。

8 その他

- ・応募された教育実践研究論文の中から、岐阜大学教育学部同窓会主催の「教育実践研究助成事業」の候補論文を選出する。
※幼稚園等教職員からの応募については、出品対象外となる。
- ・東教推研究発表会で、前年度の優秀な教育実践研究論文を展示する。
- ・「教育実践研究奨励賞」の審査委員会は、東濃教育事務所教育支援課をもって充てる。
- ・表彰式は、令和7年3月18日（火）午後3時30分（予定）から行う。

レイアウトに関する説明資料

「最優秀賞」及び「優秀賞」の論文は、応募原稿のまま論文集に掲載されます。

「優良賞」及び「新人賞」の論文は、論文の冒頭に記載された「概要」が論文集に掲載されます。

※「教育実践助成事業 実施要綱」の執筆要領及び「レイアウトに関する説明資料」にある字体、ポイント数、行数等を踏まえ執筆願います。

*様式は、岐阜大学教育学部同窓会HPからダウンロードできます。

- 1枚目 本文：MS明朝 10.5ポイント 見出し：MSゴシック
余白：上下左右 各25mm程度 概要以下は2段組

＜教科・領域等の名称＞ (MSゴシック 11ポイント・左寄せ)

表題 (MSゴシック太文字強調 12ポイント 1~2行・センタリング)
～ サブタイトル ～ (任意・MSゴシック10ポイント・センタリング)
○○立○○小学校 教諭 ○○ ○○ (MSゴチック 11ポイント 右寄せ)

*上下に二重罫線を引くこと、全5行以内で記載すること

【概要】 ←ゴシック

- 枠線で囲むこと
- 46文字程度×10行 MS明朝 10.5ポイント

- 1枚目の本文は22字程度×28行程度×2段で記載 (ページ全体で最大50行に収めること)
- 小見出しは、MSゴシック
- 図や表は、全6頁に6点程度。
詳細は論文募集要項を参照。

＜記載例＞

- 1 主題設定の理由
- 2 研究仮説
- 3 研究内容
- 4 実践内容
・実践事例とそれに対する分析、解釈を述べる。
- 5 成果と課題
・児童生徒の具体的な姿 (検証データ等) から述べる。
- 6 参考文献

■ 2枚目～6枚目

本文：MS明朝 10.5ポイント

見出し：MSゴシック

- 本文は22字程度×43行～50行×2段 (ページ全体で最大50行に収めること)
- 願い・問い合わせ (仮説) → 実践 → 検証 (分析・解釈) → 改善 (今後の方向) という取り組みの過程をふまえて記述する。
- 図や表は補足資料であるため、論文の内容は本文に記入する。
- 図や表は、内容が読み取れる程度の縮小に留める。

＜講評＞

- 6ページ目の最後22字程度×11行は空白にすること (審査員の講評欄として使用するため)
※点線枠なし